

# ザックかっいで

10月定例山行 鷹ノ巣山(922.1m)・カンノキ山(892.1m) 東広島市福富町

10月22日(日) ☆天候 晴

参加者 15名 CL 藤本 SL 村島

小寺、小山、円山、原田、村田、三重成、三重典、佐々木  
宮木一、柴田、坂井、増本、秋信

コースタイム

広島県庁(7:45)→県央の森(9:05)→登山口(9:30)→鞍部(9:55)→  
カンノ木山(10:55)→鞍部(11:00)→鷹ノ巣山(11:40)昼食 出発 13:00→  
登山口(13:45)→県央の森着(13:55)

報告

県内には鷹ノ巣と名のつく山は5山あるそうだが、県の中央部にあたる鷹ノ巣山は広島県の座標の原点だ。山頂には風格のある一等三角点がでんと鎮座している。

さて今回は茅葺の家、火の見櫓、作り酒屋の残る風景を車中から眺めながら山間の町志和町を抜け、東広島市福富町から登る。県央の森まで車で入り、約10分ほど引き返した登山口から山道を進む、20分で鞍部に到着、右はカンノ木山。

左は鷹ノ巣山への分岐だ。まづカンノ木山へと向う道は広葉樹林に空を覆われ快適な上り道だ。やがて明るくなるとカンノ木山の山頂は近い。山頂の岩からは眼下に県央の森、福富町が一望できる。鞍部に戻って鷹ノ巣山に向う。粘土質ですべりやすい急登が20分続く。山頂は芝生で避難所を兼ね

た展望台からは晴れた日には間近に白木山、北に芸北の山群、南に野呂山、石鎚山まで望めるとあるが、当日はもやっており遠くの眺望はかなわず。

明るい山頂での昼食をすませ、芝生の中に咲いていた一輪のリンドウの花を囲み花談義にふける仲間、花のスケッチをしているHさん。それぞれ楽しんだ後、県の中央部にあるブナの巨木の保護林の間を通り県央の森に戻り帰路についた。

(記 藤本 忠生)

